



# 広報あくな

第363号

世帯数と人口  
(3月1日現在)

世帯数	9,228 (-9)
人口	30,669 (+6)
男	14,279 (+6)
女	16,390 (0)

( )内は前月比

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行  
昭和52年4月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



「温かい社会の理解がなければ身障者はなかなか自立できないと思います」。また、身障者も自分自身に負けてはならないと思います。幸い私は人に恵まれてきました。心だけはひねくれないように生きていきたいと思っています」と訴える中津濱桂子さん(赤瀬川)。

1歳5ヶ月で、自宅近くの踏切で列車事故にあい右足と右手を切断。しかし、持ち前の明るさと粘

## 逆境を克服

り強さで逆境を克服。41年3月高校を卒業、名古屋で1年ほど働いたのち鹿児島県職業訓練校へ。経理事務科で簿記と珠算を学び、免許を取得して平塚タクシーに勤務「性格は明るいし、仕事はガンバリ屋。なくてはならない人です」という職場評。

身障者を理解する人が少ない社会。中津濱さんたちが安心して働ける社会を築きたいものです。

明るく豊かな都市に	2~4
更に充実する市民福祉	5
一般会計予算を可決	6・7
鶴川内中学校舎を改装	7
モニター会議開かれる	8
流通センターが完成	9
ひろば	10・11
山下小100周年を祝う	12
月割課税が変わります	12

# 52年度施政方針決まる



施政方針を述べる坂元市長

## 市民生活の向上に全力

坂元市長は三月十日から二十八日、十九日間の日程で開かれた昭和五十二年第一回定例市議会のなかで「明るく、希望の、豊かな阿久根をつくる」ことを基本目標として、産業基盤の整備、教育及び社会福祉の充ち、住民福祉の向上を施政方針とすることを明かしました。このなかで、「二つの大きな事」にして長年の懸案となっていた市庁舎建設と計画事業を実現させることを明らかにし、その本年度着工の予定であると述べました。

このほか五十二年度は、鶴川内中学校の校舎改築、市営住宅の建設などをはじめ、市民家庭に対する医療費助成に加えて、父子家庭に対する医療費助成と、市民の火葬料無料化に力を入れることを明らかにしました。

昭和五十二年第一回市議会開会にあたりまして、市政に対する所信を申し述べ、市民の皆様のご理解とご協力をたいと存じます。

最近に至って、ようやく物価安定の兆しが見え始めましたが、企業活動の低下、国民消費活動の停滞は根強い不況感もあって回復力が鈍く、国及び地方財政窮乏の大きな要因となっています。

従って、当市における本年度の財政運営は、地方財政計画を基準におき、確実な財源は握るものとに効果的かつ健全な運営を図らなければなりません。

## 父子家庭の医療費も助成

### 市民の火葬料無料に

市政の基本目標として私は「明るく希望の、豊かな阿久根をつくる」ことを掲げ、目標達成の柱として、青年には夢を、壮年には働きがいのある町を、婦人には楽しい暮らしを、老人には豊かな福祉の手をと、四つの目をたて、市政の中にその具現を図ってまいりましたが、更に本市政の姿勢を堅持し、努力してきた

い財政事情下にあっても、行政水準の低下は許されません。住民の多種多様な要求や要望を苦しい財政運営のなかで、いかにして多く満たし、住民の納得のいく行政を行うかが為政者としての使命であり責務であると考えます。

市民総観は私の理想でありませんが、皆さんの英知と努力、融和と協調が明日のわが阿久根市を築く最大の要諦であると信じます。

私が市政を担当して満二年、任期の半ばを経過しましたが、その間、常に市民の生活と福祉の安定向上を念頭におき、均衡ある市政の運営を通じて、その発展に努力してまいりました。公約しました政策も逐次予定どおり実現しつつあります。

## 福祉の充実

今日、社会福祉の充実は、かなり高度な水準に達しつつありますが、老人医療費無料化に伴う医療費の増大は、財政圧迫の要因となっており、そのため制度見直し論が提起され、高福祉・高負担の福祉へと軌道修正しようとする動きが出てまいりました。

国民全体の福祉問題として、均衡のとれた適正な制度の確立は必要なことではありますが、できるだけ福祉制度が後退することのないよう努力したいと思っております。

生活保護家庭をはじめ、寝たきり老人・心身障害者など恵まれない不遇な人々に救いの手を差し伸べ、生活の安定を助長し、制度の適正な運用を図るとともに、生きがいをもたせ、励ましのための精神的な福祉活動についても努力してまいりたいと思っております。

## 市庁舎を建設

本年度最大の事業である新市庁舎の建設は、昨年土地開発公社により敷地として田野殿粉砕地を購入するとともに、建設に関する諸調査及び準備をすすめてまいりましたが、競投設計による設計業者の選定を経たうえで、いよいよ五

本年度新規事業として、母子家庭に対する医療費助成に加えて、更に父子家庭の医療費助成を制度化し、ささやかながらこれらの家庭の生活の不安を除き、励ますこととしました。また保健衛生関係では、本年度から市民が利用する場合の火葬場使用料の全廃を実施することにし、併せて火葬場の環境整備を図ることにしています。

も継続事業として着工することにしたしました。

# 農林水産業を近代化

## 畜畜導入貸付金も増額

産業の振興は、市勢発展の根幹であることは申すまでもないことであるが、限られた市財政を考へるとき、つとめて重点的かつ効果的投資が要求されます。

## 農業の振興

農業関係では、食糧不足に対する危機感が世界各国で台頭しつつある中で、日本の食糧問題も真摯に考へなければならぬ時期にきており、国の強力な農業政策が望まれるところであります。

農業振興のためには、農業基礎の整備を積極的にすすめることも、地域の地勢、気象条件にマッチした作目の選定、農作物の価格安定、流通面の改善、経営資金の確保等を図る必要があります。また、土地の高度利用や優秀な農業労働力の確保、近代化施設機械の導入による省力化を図り、農業経営の安定と魅力をもたらし、適切手段が講じられなければなりません。

そのために、まず農業構造改善事業の推進、エンドウ生産安定対策事業の実施など、積極的に取り組んでまいりたいと思ひます。特にエンドウは、本市農業の有

れている連作障害については、新しく深耕対策事業の実施により解消を図りたいと存じます。

更に本年度は、新しく生活道路整備事業を取り上げ、農道や市道として整備できない小さな道路で住民が日常生活または農作業上常に利用する道路の整備をすめ、利便の向上と農業生産の増進を図ってまいります。そのほかイチゴ早期出荷対策事業をはじめ、猪害防止対策事業などについても一層の努力をいたしたいと存じます。

## 畜産の振興

畜産では、緊急粗飼料増産総合対策事業の実施、優良種雄豚導入、酪農ユニットクレーターの導入など、経営の合理化や品質向上を

図り、更に畜産の導入資金については貸付金を増加し、畜産振興の効果を高めたいと存じます。

## 林業の振興

林業につきましては、人工林の増大、優良木生産を奨励し、林業経営の安定を図るため、竹林改良事業、森林整備事業を推進するとともに、市の基本財産造成のための市有林造成事業を実施してまいりたいと存じます。

## 水産業の振興

水産業界にとって二百海里の経済水域設定は、すでに避けがたい世界のすう勢であり、遠洋漁業の打撃は深刻なものがあります。ここに至って、沿岸漁業が大きく見直され、その振興が期待されていますが、本市水産業の振興についても、積極的な施策を講じなければなりません。

基本的には、漁業経営の安定と

# 広域商業診断を実施

## 商工業発展策をさぐる

物価もようやく安定の方向に向かいつつありますが、景気は依然として沈滞状態が続き、商工業者にとって厳しい情勢にあります。従って、本市商工業にとっても当面景気回復に関する国の積極的施策が望まれますが、市といしましては、商工会議所及び関係団体との連携を強化し、経営・金融等の指導助成の充実強化、制度資金利用に対する信用補完の強化を図ってまいります。

## 観光の振興

また本年度は、広域商業診断を実施して、今後の本市商工業発展の方向をさぐるとともに、その振興策の把握に努めたいと思ひます。工業誘致につきましては、企業の設備投資意欲が低下している折柄、困難が予想されますが、引き続き本市に選した企業の誘致に努力してまいりたいと思ひます。

## 主要な新規事業

### 健康で安定した生活の確保

- 父子家庭の医療費助成
- 市民の火葬場使用料を無料化
- 老人クラブの国民宿舎使用料を無料にし老人クラブ専用のポット・茶器などを備え付け
- 奨学条例を改正し貸付金を引上げ

### 産業の振興

- エンドウ連作障害深耕対策事業
- 畜畜導入貸付金を2000万円に増額
- 酪農ユニットクレー購入に補助
- 築港魚礁設置による漁場造成
- 広域商業診断による商工業振興

### 公共事業等による社会基盤づくり

- 都市計画で鶴見地区を区画整理
- 2年計画で市庁舎を建設
- 春畑に市営住宅8戸を建設
- 鶴見川内中学校老朽校舎を改装
- 茶円ケ段線など25線を改良舗装
- 日常生活道路の整備にも補助
- 遠見ヶ岡線など95件を災害復旧
- ガードレールを20箇所、ロード・レーン等を約40箇所を設置

観光につきましては、現在九州西海岸観光ルートの開発整備がすすめられておりますが、本市は、この宿泊拠点地として、また北薩地区観光ゾーンの中心観光地として、大島をはじめとする観光地・温泉・宿泊施設の整備促進を図ってまいりたいと思ひます。

野母崎とのフェリー就航問題や鶴見との航路問題につきましても市として可能な限りの努力を傾け



# 道路整備を積極的に促進

## 教育施設をさらに充実

産業・生活基盤として重要な市道・農道の整備につきましては、私が最も力を注いできたところであり、道路整備五か年計画については、現在のところ計画を大中に上回る実績を示しています。

本年度から庁舎建設に入り、財政的に苦しいなかではありますが道路整備事業につきましては、今まで以上に積極的に努力いたすべく、過疎・広域道路整備事業、失業対策事業を実施してまいります。

なお、臨時市町村道路整備事業も昨年より二五％伸ばすつもりであり、また交通事故を防止するための交通安全施設の整備につきましても力を注ぎたいと思います。

### 都市計画事業の推進

都市計画事業につきましては、鶴見地区土地区画整理事業が五か年計画をもって、いよいよ本年度から着工の予定であり、大橋川の改修とともに鶴見地区十三町の健全な市街地化が実現への一歩を踏



改築される鶴川内中学校の老朽校舎

みだすこととなります。

住宅関係につきましては、市内の住宅不足解消のための市営住宅建設や、がけ地近接危険住宅移転並びに既存市営住宅の計画的な補修をすすめます。

### 地・農道等の整備

土地改良関係では、本年度は、鶴見地区土地区画整理事業、飛松地区、心水防除事業、泉宮長谷地区、浦事業の継続施工及び広域宮田、農道整備事業の調査が行われ、

の充実、教育施設の整備等をめざし、林道改修や井せき、橋門、地等の土地改良事業も実施してまいります。

### 教育の振興

教育の重要性については、今更うまでもありませんが、次代をう子弟の育成については、最大関心と努力を私わなければならないと思います。

学校教育につきましては、老朽校舎の改築をはじめ、各種の教育施設の整備、教育機械の充実など健全で明るい教育環境の建設に努めるとともに、幼児教育や習字制度の充実などにも力を注いでまいります。

社会教育・社会体育については、重要な問題でありまして、婦人・老人団体の学習、体、活動をより一層助長するため、指導

## 公正で明るいな市政を確立

### 職員一一体となり市民奉仕

市政運営に当たっては、私の理想と信念に照らし、公正に市民の要望を取り上げ、策を講ずるよう心掛けたいと考えます。

また財政力強化のために、税その他の収入の確保に力するほか人件費をはじめとす、業務的経費の増減を抑え、できるだけ投資経費の充実増加を図らなければなり

の充実、教育施設の整備等をめざし、林道改修や井せき、橋門、地等の土地改良事業も実施してまいります。

### 自衛隊 など促進

その他の、としましては、国民宿舎及、肉センターの経営改善を積極、にすすめ、独立探算を堅持、まいるたいと思っておりますが、冷、については、民間における増加が影響して経営不振の懸念があり、今後の推移を見ながら検討したいと考えます。

陸上自衛隊駐屯地の誘致問題につきまして、市及び市議会並びに商工会議所など、市をあげての誘致運動をすすめてまいりました。が、県内各地区との競合もあり、牽制できない実情にあります。

市勢浮揚のために、また市民の強い要望にこたえるべく、今後一段と実現への努力を傾注したいと思います。

ません。そのためには、組織や事務事業の改善合理化、補助金の適正化などに努力してまいります。

最後に、これらの施策の実現につきましては、市長・職員一一体となり、真に住民奉仕に徹する心構えと、市民各位のご理解とご協力が肝要ですので、よろしくご支援くださるようお願いいたします。

### 市職員異動

四月一日付で新規採用者十人を合む職員異動が行われました。

- 監査委員会事務局長 寺下保司 (土地改良課長) ▽土地改良課長 久保重春 (国民宿舎支配人) ▽国民宿舎支配人 大尾連 (保険衛生課長補佐) ▽保険衛生課長補佐 中村学 (住民係長) ▽建設課参事 田上龍雄 (監査委員会事務局長) ▽予防衛生係長 黒神公生 (国民宿舎管理係長) ▽住民係長 有田健三 (冷蔵庫係長) ▽国民宿舎管理係長 新崎七郎 (予防衛生係長) ▽福祉事務所 大毛健一郎 平田努 ▽建設課 新戸清 小田義美
- ▽土地改良課 飯屋園一徳 浜崎優秀 ▽農政課 山下健一 ▽道路維持課 入尾野春雄 牛堀重則 山下久代 ▽税務課 江部正二 谷洋子 ▽商工水産課 猶業裕子 ▽水道課 富原哲美 小田弘務 ▽教育委員会 寺地貞 海平正信 尾上英二 ▽保険衛生課 牛之浜敏助 ▽市民会館 牛之浜惠美子 ▽臨本保育所 福田久美子 ▽食肉センター 海平時博
- 〔新規採用〕 総務課 橋手敦子 ▽市民課 田淵広子 ▽大川保育所 柏木幸子 ▽折多保育所 京田由美子 ▽臨本保育所 川崎真澄 ▽尻舞児童館 奥平登代子 ▽牛之浜児童館 神之田友子 ▽黒之浜児童館 久保真理子 ▽臨本小学校 川崎美知子 ▽華人小学校 牛之浜美佐子

# さらに充実する市民福祉

産業基盤の整備、教育及び社会福祉の充実などを基本目標にした五十二年度の市政は、阿久根新港の水産物産地流通加工センターの完成に続き、都市計画事業の実現と市庁舎の建設など、北條の中核都市として、新しい都市づくりへと躍動

を始める一方、本年度から父子家庭の医療費助成、火葬料の無料化、奨学金の増額、エンドウ連作障害深耕対策事業の推進、日常生活道路の整備などを促進し、市民福祉の充実を図ることにしています。その中の主なものを紹介します。

## 改善された主な制度

### 奨学金増額

奨学条例が一部改正され、四月一日から奨学金の貸与月額が引上げられます。

今回の改正によって、高校は三万円から四万円に、高専は四万円から六万円に、大学は六万円から一万円に、それぞれ増額されることになりました。

### 父子家庭の医療費助成

現在、市奨学生は四十一人で、このほか五十二年度申込者の採用を含めて、約五十人が恩恵を受けることになりそうです。

新しい財政難の続く国や地方自治体では「福祉切捨て」「福祉見直し」の論議が話題になるなかで

「不況時ほど老人、母子家庭、身障者など、真の弱者への風当たりが強くなる。こんなときこそ、恵まれない家庭に援助を」と、昨年度から母子家庭の医療費助成に踏み切った本市では、第一回定例会議会で「母子家庭医療費助成に関する条例」を「父子及び母子家庭医療費の助成に関する条例」に改

め、本年度から父子家庭にも医療費を助成することになりました。健康保険制度では治療費の七割を保障で支払い、残りの三割を本人が負担することになっています。が、本人負担金が一か月三万九千円を超える治療費は、高額療養費として払い戻されています。しかし、収入の少ない人たちに

## 土壌深耕に補助金

### エン ドウ 連作 障害 を 克服

農家の換金作物としてエンドウ生産安定対策事業を進めている本市では、五十二年頃から新しい事業として農家に土壌の深耕を奨励し、エンドウの連作障害を克服することになっています。

エンドウの連作障害は、五年ほどの転作によって防止できると言われていますが、耕作地が少なくエンドウに代わる適当な換金作物

もないことから、農家にとって連作障害が悩みとなっていました。そこで市では、農家に土壌の深耕を奨励し、ブルドーザーなどで六十センチ以上畑を深耕し土づくりを行った農家に、その経費の四分の一を助成することにし、本年度は

五割の深耕を計画しています。この事業の実施によって、栽培面積百八十三畝、生産額五億四千

は手痛い出費となるため、父子及び母子家庭の医療費助成として、二千万以上三万九千円未満の額を市が支給することにしたものです。対象は十八歳未満の児童を扶養している父子及び母子家庭となっています。

医療費助成は手続きをされた月から適用されます。該当者は保険証と印鑑をもって、早目に市福祉事務所に申請してください。

### 火葬場使用料を無料化

市では火葬場条例の一部改正し四月一日から市民に不幸のあった場合の使用料を、無料とすることにしました。これは、少しの使用料を取るより、市民福祉の立場から全廃することにしたものです。

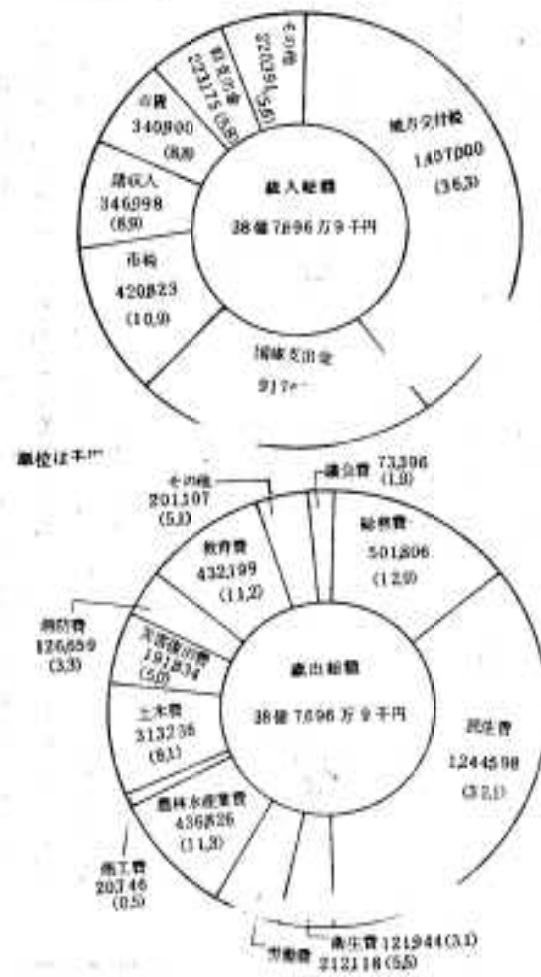
### 生活道路の整備に補助

万円のエンドウ生産は、六億円を突破すると期待されています。道路整備事業に力を注いでいる市では、市道、農道以外の道路で日常生活道路として利用されている道路の整備にも、本年度から事業費の四割を助成することにしています。従来、行政の手の届かない道路として、各部落で整備されていた道路の整備に助成するもので、本年度はまず大川地区を整備することになっています。

## 在宅医さん

- 四月十七日
  - 阿久根内科 ③0578 (新町)
  - 内山病院 ③1551 (高松)
  - 黒木医院 ③0200 (下村)
- 四月二十四日
  - 上園医院 ③1055 (本町)
  - 田中医院 ③0553 (大丸)
  - 石原医院 ③0045 (橋之東)
- 四月二十九日
  - 北国医院 ③0016 (本町)
  - 中村医院 ③0015 (大丸)
  - 濱之上医院 ③2600 (橋馬場)
- 五月一日
  - 堀切医院 ③0263 (高松)
  - 喜多医院 ③0038 (大丸)
  - 平 医院 ③2626 (古里)
- 五月三日
  - 山田病院 ③0420 (本町)
  - 内山病院 ③1551 (高松)
  - 黒木医院 ③0200 (下村)
- 五月五日
  - 阿久根内科 ③0578 (新町)
  - 田中医院 ③0553 (大丸)
  - 石原医院 ③0045 (橋之東)
- 五月八日
  - 上園医院 ③1055 (本町)
  - 中村医院 ③0015 (大丸)
  - 濱之上医院 ③2600 (橋馬場)
- 五月十五日
  - 北国医院 ③0016 (本町)
  - 喜多医院 ③0038 (本町)
  - 平 医院 ③2626 (古里)

# 一般会計予算38億7696万9千円を可決



## 苦しい財政運営を市

### 効率的配分で住民要求に對

第一回定例市議会では、坂元市長の施政方針と昭和五十二年当初予算案を中心に各種の条例案件などが審議され、それぞれ原案どおり可決された。昭和五十二年の一般会計予算は、産

業基盤の整備・教育及び社会福祉等を促進すると共に、厳しい状況下ではありますが、三十三億六千九百九十九千円を効率的に活用し、市民生活の安定と福祉の向上に努めます。

急成長をとげてきた日本経済は、石油危機を契機に深刻な不況に陥り、国の経済政策も高度安定成長路線へと軌道修正されています。国の経済と構造的に深いかかわりをもっている地方財政は、高度成長期のように大幅な自然増収に支えられ、比較的ゆとりのある運営ができた時代と異なり、苦しい自己財源の乏しい阿久根市は、政策の影響に負うところが大きく、支出にいたっては人件費、扶助費などの義務費が増大し、均衡を失うおそれがあります。しかも本年度は、年の懸案となっていた市庁舎の設計と鶴見地区の都市計画事業など、二つの大きな事業に加えて、千おりに市営住宅の建設に踏み出すほか、鶴

にも増して、厳しい財政運営を強いられることとなりますが、限られた財源を効率的に配分し、市民の福祉の確保に努めていくことにしています。

## 健康と生活の確保

心身障害者福祉では、身障者施設など各施設の入所委託料、身障者の補装具・更生医療費などの扶助費などを計上。

老人福祉対策では、老人医療費の扶助費や、老人健康審査委託料などのほか、本年度から老人クラブの国民宿舎使用料を市が負担するよう改善。老人クラブ専用のポット、茶器などを備え付け、無料で貸与するようにしています。

児童福祉対策では、保育所・児童館などを充実強化する一方、母子家庭の医療費助成に続き、本年度から父子家庭の医療費も助成。

保健衛生対策としては、太陽の子運動を引き続き推進していくほか、結核検診・健康相談、母子健康診査などを実施し、市民の健康管理を更に推進します。

また、火葬場条例の一部を改正し、四月一日から市民の火葬料を無料とすると共に、火葬場事務所を新築し伊を補修するなど、火葬場の環境整備を促進します。

## おめでた

- | 出生児    | 保護者 | 区名    |
|--------|-----|-------|
| 早瀬 ゆかり | 洋行  | (黒之浜) |
| 猪俣 真奈美 | 盛雄  | (佐高)  |
| 中村 敦子  | 毅   | (大丸)  |
| 新井 まどか | 逸郎  | (大丸)  |
| 迫田 揚士  | 富士夫 | (段)   |
| 谷口 円   | 茂人  | (務)   |
| 横崎 大希  | 直幸  | (湯)   |
| 新坂 修也  | 典久  | (中村)  |
| 田野 祐子  | 雄三  | (大丸)  |
| 田中 新吾  | 功   | (高松)  |
| 奥 綾子   | 寛吉  | (馬場)  |
| 下田 誠   | 卓三  | (新町)  |
| 飛脚 裕子  | 博司  | (新町)  |
| 佐藤 梨絵  | 重義  | (佐高)  |
| 矢野 恭子  | 忠   | (段)   |
| 鶴田 大成  | 友治  | (寺山)  |
| 倉津 あゆみ | 等   | (倉津)  |
| 寺地 理奈  | 富男  | (新町)  |
| 鮫島 直也  | 力   | (上原)  |
| 山田 洋介  | 勝   | (古里)  |
| 福岡 香里  | 五則  | (黒之浜) |
| 川上 美登里 | 利行  | (瀬之下) |
| 黒坂 一男  | 健治  | (大谷)  |
| 濱崎 伸太郎 | 光伸  | (黒之浜) |
| 松崎 智美  | 豊喜  | (瀬之上) |
| 河野 裕一郎 | 幹雄  | (上原)  |

**納税にご協力を**

今月は軽自動車税と固定資産税一期分の納期です。期限内に納入しましょう。



このほか、市民の環境衛生をより向上させるため、現在のダンプ収集車一台を、大型ロータリー車に更新する計画です。

### 産業の振興

農業振興事業では、エンドウ連作障害深耕対策事業を行うほか、昨年度に引き続き野菜生産安定対策、モデル麦作集団育成、猪被害防止対策などの各事業を実施。

農業構造改善事業は国の決定がないため、本年度は事業計画樹立調査費として四百万円を計上。また、県営飛松たん水防除事業に千六百八十五万四千円、県営長谷池整備事業に七百三十二万一千円を、それぞれ地元負担金として支払うことにしています。

畜産振興事業では、果畜導入貸付金の資金枠を二千万円に増額。新規事業として、牛乳の品質確保のため、本年度から酪農機具ユニットトラクター購入にも補助金を支給し、畜産の振興を図ることにしています。

計画しています。

水産振興事業では阿久根漁港の修築事業をはじめ、佐瀬・牛之浜両漁港の局部改良工事と熊本漁港揚防工事など漁港整備を促進。

また、漁場造成事業として築磯敷設置工事を実施するほか、漁業後継者の育成も促進します。

商工業対策としては、商工会議所などと連携を図り、経営・金融等の指導体制を強化すると共に、本年度は広域商業診断を実施し、商工業の振興を促進します。

観光については、九州西海岸観光ルート開発と観光客誘致に力を

## 鶴川内中老朽校舎を改築

### 市営住宅を八戸建設

注ぐことにしています。

### 公共事業等の促進

道路整備事業では、五か年計画によって、過疎・広域事業等として高円ヶ段線など六線をはじめ、失業対策事業として折口村中線など十一線と、農道補装事業として臨本愛宕線など八線、計二十五線を改良補装する計画です。

市道の維持修繕については、失對事業のほか道路維持費九百四十四万一千円を計上し、適切な維持管理に努めます。

また、市道の草払い、排水溝清掃などの専任作業を実施した部落に、市道清掃謝金を支給。市民との協力による維持管理体制を確立す。ついでです。

このほか、ガードレールを二十箇所、イドミラーを約四十箇所設置し、交通安全対策を推進。

また、補助農道改良事業として立石地区(臨本)の農道を改良補装。鈴木段地区と牛之浜地区の農道整備事業にも、五百三十五万円を補助する計画です。

国道3号線のバイパスとしても期待されている広域農道について

は、本年度採択と来年度着工を目標に、調査負担金を支出します。農道関係では、下東郷・阿久根線(本之牟礼地区)の農道補装事業に、地元負担金を支出します。

機りよう関係では、市政懇談会のなかで要望のあった大川橋をラッパ口に改良し、交通の利便を図ることにしています。

都市計画事業は、鶴見地区を区画整理することとし、本年度は横地設計を行なう予定です。

住宅対策としては、春畑に市営住宅八戸を建設するほか、八郷など十五箇所のがけ地近接危険住宅と、黒之浜など三戸の常時浸水危険住宅の移転事業を実施します。

災害復旧事業では、土木施設関係として遠見ヶ岡線など四十七件農業施設関係として馬見塚の農道など三十九件、林道関係として茶尾林道など八件のほか、牛之浜漁港海岸、計九十五件を災害復旧。

その他の事業として、本年度は市庁舎の建設に踏み切ることにし本年度事業分として、九千五百万円が計上されています。

### 教育の振興

教育の振興については、鶴川内中学校老朽校舎改築のほか、小中学校などの教育機器購入費として二千五百五十一万円を計上。

また、奨学条例の一部を改正し貸付利率を上げました。

スポーツの振興としては、体育協会・県体出水地区大会・県体・県青年大会などの助成のほか、総合グラウンドの施設充実を図るため、排水工事、倒溝ふたの取付工事及び本部設置工事を実施。

公民館費では市公連育成のほか柳野上公民館建設にも助成します

裁判所の見学を受け付け

五月一日から憲法週間  
五月三日は「憲法記念日」です  
が、これにちなんで五月一日から五月七日までは「憲法週間」と定められています。

憲法週間中は憲法の本質や司法について普及徹底を図るため、日曜・祭日を除いて、裁判所の見学や傍聴を受け付けています。なるべく十人以上の団体で鹿児島地方裁判所総務課(電話237121)にお申し込みください。五月七日午前十時から午後四時まで、鹿児島市山形屋アパート七階三号室では、無料法律相談所も開設されますので、ご利用ください。

お祝い電報は予約受付を三日前の発信は割引きに  
阿久根電報電話局管内の電報は川内電報電話局で処理されています。このため、大安吉日の結婚式や卒業・入学式の当日などは、お祝い電報で込み合い、電報電話局の一五番電話は話中が多く、大変かかりにくくなっています。

うっかり忘れていたため式等が始まる直前に発信され配達を心配される方もあるようですが、こんなことのないよう配達日の十日前から発信できる予約受付(配達日指定)の取扱もしています。

配達日の三日前までに発信されずと、百五十円の割引きもありませんので、お祝い電報は、早目に予約受付をご利用ください。

# 生活に密着した問題は市民に提

地域の問題や市政の浸透状況などを把握する市政モニター会議は三月二十二日市民会館で開かれました。

会に先立ち新しい市政モニター十七人に、ひとりひとり委嘱状が交付されたあと、坂元市長は「市民の福祉向上を図るのが市政の役割。地域での問題等をお聞かせいただき、住民との対話によって、よりよい行政を推進したい」と述べました。



よりよい市政を目指すモニター会議

昭和四十四年に発覚。主催者である市民の意志を市政に反映させるため設置されているもので、市政に対する相談会など市政全般に対して提言をしていた

モニターの会議では次のものが主な要望として出されました。要望 市民の要望のなかには、予算との関係で早急に実現できないものもあると思う。処理できないものは、理由を明確にして市民の理解を求めべきだと考える。

それが行政と市民との相互理解につながるため、そのように努力して欲しい。また、大瀬大黒線を舗装できないか。

願望 主旨に添って市政は推進したい。大瀬大黒線の舗装については、道路整備五か年計画のなかに入っている。舗装年度は、実施する年度に公表するので、現在のところ公表できない。要望 市道の側溝も、年次計画で三面側溝にしていただきたい。

また、災害復旧されていない道路がある。早急に復旧されたい。

回答 道路側溝については、必要などころに設置している。年次計画で行うには予算を待たうので、今後の研究課題としたい。災害復旧工事については国庫補助金の関係もあり、三年計画で復旧することになる。昨年度は百十箇所を復旧しており、本年度は九十五箇所を予定している。

願望 国立療養所の受け付けは十一時までとなっている。投票だけは三時頃までできるように配慮できないか。また、眼科医の誘致はできないのか。

回答 外来患者の投票時間につ

科医の誘致については、現在も県国保連合会を通じて努力している市民の健康保持の問題であり、実現に向けて今後も努力したい。

願望 家庭で使用していたトタン類をゴミ収集日に出したところ量が多く産業廃棄物だとして、収集してもらえなかった例がある。家庭から出されたトタン類は、なるべく収集していただきたい。

また、瓦・レンガなどの廃棄物を捨てる埋立地を準備して欲しい。回答 ゴミは日常の生活用品のゴミを収集しているが、収集車に詰めるよう包装してあれば、ある程度のゴミは収集している。しかし、ゴミ収集車の積載量等の関係で積み残すこともある。廃棄物の埋立地については北陸衛生処理組合でも探しているが、適当な場所がなく苦慮している。必要なことであり前向きに検討したい。

## 市政モニター

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 渡中原丸町場野           | 兵口野野郷上東下留 |
| 知本馬               | 浦之田       |
| 大尻上大本船            | 黒高長長八瀬橋永波 |
| 樺雄ト三三ズエ実術敏成吉則美夫義芳 |           |
| 行サ洋国シミ            | 徳美義才重利幹直兼 |
| 藤田野田信津田岡濱松田田郷水木尾田 |           |
| 大大小大重双園寺富飛羽羽八早松松宮 |           |

防ぐはあなた

春の訪れとともに、ともすれば人の心もゆるみがちです。火の元の点検を忘れたり、子供の火遊びたばこの投げ捨てなどの火災が多発しています。

市民ひとりひとりが自分の生活と幸せを守るため、火災を未然に防止したいものです。そこで、わが家の火災予防について家庭で話し合い、次のことに注意して予防に努めてください。

- ▽たばこの投げ捨てと寝たばこはやめましょう。
- ▽寝る前や外出するときは、火の元を点検しましょう。
- ▽消火器や消火用水を準備しておきましょう。
- ▽子供の火遊びはやめさせましょう。
- ▽万一の火災に備えて、通報や消火作業・避難方法などを、家族で話し合っておきましょう。
- ▽火災・救急の通報は「一九番へ」
- ▽場所と近くの目標をはっきりと伝えてください。
- ▽火事の場合は「住宅」「山林」「危険物」など燃えているものを合せてお伝えください。
- ▽救急の場合は「急病」か「交通事故」かを区別して、患者の容体・人数を詳しくお知らせください。
- ▽いたずら通報はやめましょう。





△2階建ての左側が漁協事務所、右側は漁村センター



△魚市場の表玄関となる卸売場建物



▷ 水産加工組合の倉庫  
◁ 製氷工場と碎氷塔も完備



# 新港の流通センターが完成

阿久根地域水産物産地流通加工センター形成事業として、昭和四十九年度から三か年計画で進められていた阿久根新港の整備は、このほど五十一年度建設予定の水産加工組合倉庫・卸売場建物・砕氷塔・貯氷庫・駐車場整備などを完了し、沿岸商業の新しい根拠港としてスタートすることになりました。

同事業は総額五億円の事業として、四十一年度は鉄筋コンクリート造平家建ての卸売庫を建設、五十一年度は千四の冷蔵能力と二十の凍結能力を備えた大型冷蔵庫と、搬送設備としてフォークリフト二台を購入しています。

五十一年度事業で増設された卸売場建物の一部は二階建てとなり、六月には阿久根市漁協が移し、新しい組合事務所でも仕事を始めることとなります。また、約百五十台の収容能力をもつ駐車場も完成しています。

同駐車場には、仮駅まで自転車で行く人たちのために自転車置き場を設置してありますので、通勤・通学などに自転車等を使用される方は、新港内の自転車置き場をご利用ください。なお、本年度から、今年計画で阿久根港港修築事業の六次計画を実施し、現在の新港南側防波堤を百七十メートル延長する計画です。

## おくやみ

- 寺下 イロ 91 (橋之西) 栄助
- 久松 チヨ 82 (古里) 清司
- 宮原 清志 69 (黒之上) フミ
- 西 博幸 23 (黒之上) 安雄
- 濱田 七蔵 80 (新町) カ子
- 宮内 宗一 77 (波留) コナミ
- 若松 可成 58 (尻無中) アキエ
- 入尾野新兵衛 87 (椿) セン
- 折田 桂一郎 49 (本町) 恵司
- 上野 七蔵 83 (羽田) ミチ子
- 海平 仙吉 77 (段) タマエ
- 上野 政春 78 (陳之尾) マツノ
- 坂上ツルマツ 76 (段) 義雄
- 岩崎 兼吉 73 (高松) 上藤ノイ子
- 中野 フノ 80 (川畑中) テイ
- 大曲ハルキタ 78 (高松) 敏文
- 山崎 ハナ 65 (遠矢) 渡邊正子
- 盛永 直助 88 (遠矢) 末方
- 川畑 ナセ 86 (川畑中) 重志
- 久木田重親 72 (上野) たけ
- 古園 文子 48 (波留) 盛人
- 川畑 傳八 88 (川畑中) 雄
- 青木 喜助 56 (丸内) フサ子
- 川畑 ノセ 76 (的場) 栄政
- 松本 吉助 87 (永田下) 操
- 上野 太郎 86 (上野) ハツ
- 小原 末吉 68 (永田上) キクエ
- 宮原 キヨ 80 (宮原) 三助
- 磯崎 勲 56 (本町) ミツエ
- 鶴崎 シカ 89 (上野) 七蔵

家族ぐるみで飲酒運  
転を追放しましょう

# ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

## 『立派な社会人になります』

### 社会に巣立つ中学生を激励



実社会への決意を述べる中学生のつどい

「若い力を産業の発展に注ぎ込んでください」。三月四日、市民会館で「社会に巣立つ中学生のつどい」があり、中学校を卒業後就職する生徒など三十一人を励まし、前途を祝福しました。

つどいでは坂元善文市長が「学歴社会から実力社会に変わりつつある。努力を怠れず、社会のために役立つ人間として、生涯勉強を続けてください」と激励。

市婦人会長の飯田節さんは「親は子供のことを心配しています。風雪に堪えて立派な大人に成長してください」と、母親を代表して激励しました。

このあと就職者の決意発表があり、単人中の竹本利行君は「自分のことに責任を持ち、人に迷惑をかけない人間になります。自分を見失わないよう早く一人前の社会人になりたい」と発表。阿久根中の小野ひとみさんは「進学することにしてはいたが、兄弟も多く就職することになった。働きながら高校に通い、しっかり勉強します」と決意を述べました。今年、市内の中学校を五百六十七人が卒業。そのうち五割が、一足早く実社会に踏み出しています。

## ワラビ1kg 2800円

阿久根農協では、3月中旬からワラビ出荷を始め週5日集荷して東京市場へ送っています。3月中旬の価格は1kg当たり2800円を記録。タケノコなどをしのぐ高値となっています。選果場では1束110gずつたばね、1ケース10束詰めで出荷しています。



## 人形市にぎわう

旧暦の二月七日に当たる三月二十六日、昔ながらの人形市が本町通りで開かれました。天気に恵まれた今年の人形市は、家族づれでにぎわい、同日の本町通りは都会のショッピング街を思わす人出。ひところと違って衣料品類が少なくなり、お好み焼きなどが軒を連ね、時代の推移を感じさせていました。



## 社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございました。

香典返し寄付(敬称略)

久木田住枝子(上野) 上野愛蔵(上野) 法福サキ(飯沼)

川畑榮政(的場) 新町巨良(高松)

堂後いつえ(大丸) 神之田敬二(仲仁田) 中村次彦(仲仁田)

小原キクエ(永田上)

奥平利夫(水保市) 大渡薫(大鹿)

野村ソノ(小鹿) 宮内正喜(瀬之浦下) 赤崎嘉津恵(高之口)

濱崎末吉(佐島)

転出証明書交付

手数料が百円に

地方公共団体手数料令の一部改正に伴い阿久根市手数料徴収規則の一部改正があり、四月一日から転出証明書交付手数料などが引上げとなりました。

改正の内容は転出証明書交付手数料が五十円から百円に、旅行証明書交付手数料が二十円から五十円に、主要食料小売業者に対する購入割当記入手数料が百円から三百円に、それぞれ改定されました。

陸上選手権大会に参加を

市陸上競技協会では、左記によって陸上競技選手権大会を開催します。この大会は小学生は県大会

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出

中高生・一般は四市対抗と県体出



### ひかるせ大学生を募集

市教育委員会では、六十歳以上の高齢者を対象に、ひかるせ大学の学生を募集しています。

この大学は、それぞれの趣味を生かし、高齢者に生きがいと充実した生活を送っていただくためのものです。

募集要項は次のとおりです。

▽申込資格 六十歳以上の市民。

▽応募締切り 四月二十五日

▽申し込み方法 各老人クラブ会長にお申し込みください。

▽専門コース 盆栽・木工・人形書道・絵画・民謡・文芸(俳句短歌・和歌・郷土史等)

希望コースは第二希望までお知らせください。コースは市教委で調整することもありますので、あらかじめご了承ください。

技能検定試験を実施  
昭和五十二年度の前期技能検定試験が左記によって行われます。詳しくは県技能検定協会にお問い合わせください。

▽実施職種 造船・木工・ブロック建築・染色・熱線線施工・畳製作・左官・木工機械調整・タイル張り・機械加工・祭炉・表具・板金・とび・電気機器組立て・仕上げ・製版・床仕上げ施工・塗装・鉄工・婦人子供注文服製作(洋裁)・スレート施工印刷

▽実施職種 造船・木工・ブロック建築・染色・熱線線施工・畳製作・左官・木工機械調整・タイル張り・機械加工・祭炉・表具・板金・とび・電気機器組立て・仕上げ・製版・床仕上げ施工・塗装・鉄工・婦人子供注文服製作(洋裁)・スレート施工印刷

### 生活学校生を募集

市生三子校では昭和五十二年生活学校生を募集しています。

この学校は生活のなかで抱えている疑問や問題点を話し合い、みんなで共同研究し問題を解決する運動を展開するものです。

募集要項は次のとおりです。

▽入校資格 阿久根市在住の主婦

▽入校方法 入校希望者は四月二十日までに住所・氏名・年齢・電話番号を添えて、各婦人会長までお申し込みください。

なお、直接市社会教育課(電話01211内線226)まで申し込みされても結構です。

▽運営協議会 四月二十五日午前十時から市民会館で開催します

入校希望者は、全員出会してください。

▽受検申請書の受付期間 五月二日から五月十三日まで。

▽受検申請書の提出先 鹿兒島県技能検定協会(鹿兒島市山下町十四の五〇県庁東別館 電話099223240)

転居届は郵便局にも住所を変更されたら、二週間以内に市役所に届出をしなければなりません。郵便局にも同時に転居届をしますと、旧住所あての郵便物が新しい住所に転送されます。転居届用紙は郵便局や市役所の窓口にあります。ご利用ください。

転居届用紙は郵便局や市役所の窓口にあります。ご利用ください。

## 市青協が青年祭

青年団員の研修を深め融和を図る第4回阿久根市青年祭は、3月13日市民会館ホールで開かれました。同日は「九州青年の船」で中国を訪問した大渡典子さんから4人が体験発表したあと各青年団が演劇を披露。会場は歌と踊りでにぎわいました。



## 手料理



### ロースハムのキャベツ巻

【材料】四人前、ロースハム八枚、塩ひとつまみ、キャベツの葉四枚、とき辛子少々。

【作り方】①キャベツは葉の青いところを用意します。たっぷりの熱湯に塩ひとつまみを入れてキャベツを一枚ずつサツとくぐらせ、すぐ水に冷めます。

②巻すだれのうえに、水気をき

つく絞ったキャベツを一枚ひろげ、とき辛子をうすく塗り、手前からきつめに巻きます。これを四本つくり一本を二つに切ります。

ロースハムの塩味と辛子で、そのまま食べますが、好みによってはキャベツを酢につけてもいいようです。

タバコは市内のお店で買しましょう

水地区大会の選手選考をかねています。だれでも参加できますので、多数ご参加ください。

▽と き 五月八日午前十時から

▽ところ 市総合グラウンド

▽実施競技 小学生は百材・八百材・四百材リレー、走り幅跳び

走り高跳び、ソフトボール投げ

中学生は百材・二千材・四百材リレー、走り幅跳び、走り高跳び

高校男子は百材・千五百材走り幅跳び、走り高跳び

高校女子と一般女子は百材・走り幅跳び、走り高跳び

二十歳代は百材、走り幅跳び、走り高跳び

三十歳代は百材、走り幅跳び、走り高跳び

四十歳代は百材、二千材、砲丸投げ

一般共通は五千材、棒高跳び、三段跳び、一般職域対抗四百材リレー

▽参加申込み先 阿久根スポーツ(0316)の落宣一さんまで。

▽参加申込み締切日 四月三十日

ご希望の方は市役所市民相談係に、遠慮なく申し出てください。

譲ります 単車(50CC)

ドラムセット・お茶セット・ブラザー編機・クラッシュギター・

求めます 単車(ダックス50)

自転車・機水ポンプ・8ミリ映写機・フォーク用ギター・ポットま

たは木船・オルガン・コンボネン

ト型ステレオ・ベビーベッド

不用品情報

希望の方は市役所市民相談係に、遠慮なく申し出てください。

譲ります 単車(50CC)

ドラムセット・お茶セット・ブラザー編機・クラッシュギター・

求めます 単車(ダックス50)

自転車・機水ポンプ・8ミリ映写機・フォーク用ギター・ポットま

たは木船・オルガン・コンボネン

ト型ステレオ・ベビーベッド

不用品情報

希望の方は市役所市民相談係に、遠慮なく申し出てください。

譲ります 単車(50CC)

ドラムセット・お茶セット・ブラザー編機・クラッシュギター・

求めます 単車(ダックス50)

自転車・機水ポンプ・8ミリ映写機・フォーク用ギター・ポットま

たは木船・オルガン・コンボネン

ト型ステレオ・ベビーベッド



④ みんなの福祉

重度身障者に郵便はがき  
申し出は、5月31日まで

郵政省は重度の身体障害者（1級と2級）で、昭和52年4月1日現在で身体障害者手帳を持っている満6歳以上の人に、身体障害者福祉強調運動にちなむ郵便はがき20枚を差し上げることにしています。

このはがきは4月20日に発売され、発売日以降来月末日まで受け付けることになっています。ご希望の方は、身体障害者手帳を持ってお近くの郵便局にお申し出ください。

なお、身障者本人に代って代理の方の申出でも、郵便による申出でも結構です。郵便によってお申し出の場合は、身体障害者手帳の番号、級別、住所、氏名、生年月日を記入のうえ、押印してお申し出ください。

老人医療費を助成

お年寄りの健康を保持増進するため、健康保険制度の自己負担金となる医療費の3割を助成する制度です。この制度によって、老人医療費は無料だと言われています。

対象者は原則として70歳以上の人となっていますが、65歳以上の人で、身体障害者手帳を持っている1級から7級までの人は、国民年金法の障害年金（1～2級）厚生年金法の障害年金（1～3級）などを受けている人を対象としています。

従って、前使用者には月割課税はなくなり、新しい使用者には月割課税はしないこととなります。なお、廃車抹消及び他の市町村の人との名義変更がなされた場合は、従来どおり月割によって払い戻しや課税がなされます。また、四月は軽自動車税の納期になっていますが、身障者などで減免申請をされる方は、四月二十三日（土）までに、市税課課に申請してください。

創立100周年を祝う

山下小で記念式典



100周年を祝う記念式典

質実剛健を伝統とする山下小学校で、三月六日創立百周年の記念式典が開かれました。当日は同校の卒業生ら約三百人が出席。記念碑の除幕式のあと午

前九時から式典に入りました。式典では清水清秋実行委員長が百周年記念事業の経過などを報告したあと、下尾穂出水教育事務所長が「学校・家庭・社会の三者連

携による発展を期待する」とあいさつ。坂元善文市長は「百周年を出发点として、次なる二百周年に向ってまい進され、校運の隆盛に全校一致努力されんことを念願する」と激励しました。これに対し、岩切淳同校校長は「百周年を契機にして、新しい時代にまい進したい」とあいさつ。児童代表の川路博志君は、「伝統を守り、心ゆたかにたくましい校風を築きたい」と決意を述べました。式典のあと同校では、小学生

軽自動車 月割課税が変わります

減免申請は四月二十三日まで

地方税法の一部改正によって、軽自動車と250CC以上の自動車二輪車の月割課税が、四月一日か

ら改正されることになりました。月割課税の主な改正点は、阿久根市内間において昭和五十二年四月一日以降、使用者の名義変更があった場合に限り、月割課税はしないこととなります。

また、二ページにわたって市民の皆さん方を中心に掲載している「ひろば」欄に、本市出身で県外に働く人たちに投稿していただき五月号から「ふるさとに寄せて」を掲載するよう企画しています。皆さん方のご家族や知人などで県外で働いている方がありましたら、どしどし投稿くださるようご連絡ください。字数は四百五十字程度、写真を使うことにはしていませんので、白黒の顔写真一枚に、出身地と簡単な略歴等を合わせてお知らせいただきたいと思います。

投稿していただいた方には、広報あくねを毎月送ることになっていますので多数ご投稿ください。送り先は、阿久根市大丸町九十二番地、郵便番号899-116、阿久根市役所総務課秘書広報係。また、市内での明るい話題や市政に対する意見、要望なども、どしどしお知らせください。

編集室から

広報あくねの表紙として、地道に生きる人々を対象に十六回にわたってお届けした「郷土に生きる」は、三月号で終ることになりました。